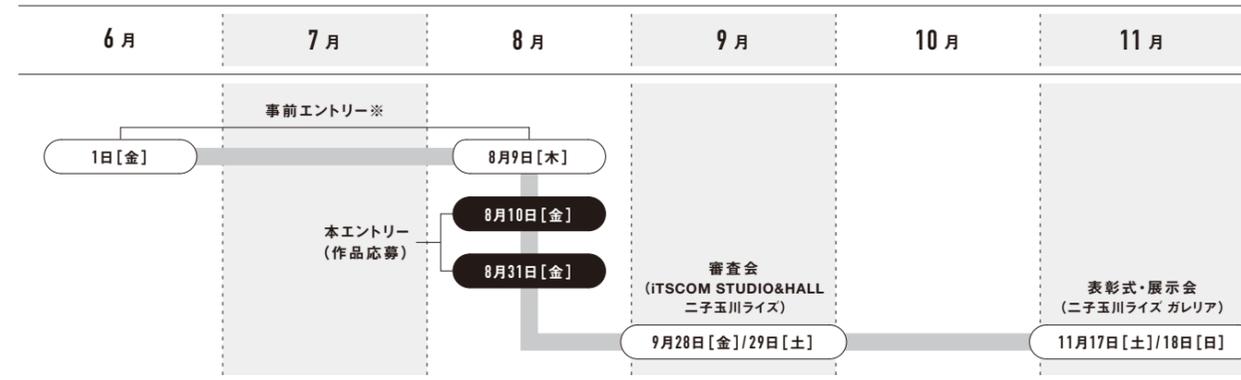


スケジュール

SCHEDULE

▶ 2018



※作品応募予定の方は必ず事前エントリーをしてください。

JLIAの活動のご案内

ACTIVITIES OF JLIA

一般社団法人日本皮革産業連合会（JLIA）とは、皮革および革製品の生産・流通・貿易に関する各種施策の総合調整・技術開発・普及啓発などを実施することにより、皮革産業の総合的な振興

・発展および連帯強化を図り、もって我が国産業の発展および国民生活文化の向上に寄与することを目的に1986年に設立された総合団体です。現在皮革関係27団体を会員として活動しています。



「日本の革」

消費者に日本の皮革および革製品の魅力を広く伝えることを目的にNo.1～8を発刊。日本ならではの優れた感性や高い技術とともに、モノづくりにひたむきな職人にもフォーカスしながら、ジャパンブランドの魅力を発信。



Kids' Leather Programs

教育関係機関、児童福祉施設、こどもの育成または教育を推進するNPO団体などに革製品メーカーなどから集めた革の端材「残革」を無償提供。こども達に残革を使ったものづくり体験を楽しんでもらいながら、天然皮革について理解を深めてもらう活動を行っている。



革製品技能試験

試験制度を通して皮革技術に対する評価を高め、職人の技術と社会的・経済的地位の向上を図るとともに、ものづくりに興味がある人材を増やし、皮革産業の未来を担う後継者の育成を行っている。

その他にも国産皮革・革製品をサポートする取り組みを多数実施しております。詳しくはJLIAのホームページをご覧ください。

▶ <http://www.jlia.or.jp/>



JAPAN LEATHER AWARD 2018

エントリーお申し込み・お問い合わせは…

一般社団法人 日本皮革産業連合会 (JLIA)

Japan Leather Award 2018 事務局

〒113-0031 東京都文京区根津1-1-19 9F (株式会社 ザッツコーポレーション内)
tel.03-3827-1991 fax.03-3827-1995

Twitter ▶ @leatheraward

Facebook ▶ <http://www.facebook.com/leatheraward>

Web Site ▶ <http://award.jlia.or.jp/2018/>



※パンフレット掲載内容は、変更になる場合があります。

JAPAN LEATHER AWARD 2018



FOOTWEAR



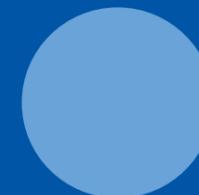
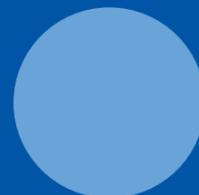
BAG



FREE



WEAR



STUDENTS

GUIDE FOR RECRUITING WORKS

作品募集のご案内

▶ 事前エントリー 6月1日[金]～8月9日[木]まで! (どなたでも無料で応募できます)

APPLICATION GUIDANCE

作品応募のご案内

2017年度の受賞作品をここでご紹介します。
多くの審査員の目を魅了し、たくさんの応募作品の中から選ばれたアイテム。
それぞれ、どんな物が、どのようなこだわりで制作されたのか
各部門ごとに、一挙にご紹介。



2017 WINNER REPORT

▶ フットウェア部門
ベストデザイン賞

TOSHIKI TANAKA

田中利明 [個人]



2017年度
グランプリ



ジャパンレザーアワード2017グランプリ作品。ぼってりとしたフォルムのシューズに、葛飾北斎の『富嶽三十六景』や『凱風快晴』といった浮世絵をプリント。日本人特有の奥ゆかしさを念頭に、派手にならないようさり気ないトーンを意識した。特長は革の床面に浮世絵を転写することでプリントしやすくコストも下げた点。雨や水に濡れることで、グラフィックが鮮明に浮かび上がる。



水に濡らすと転写した北斎の浮世絵がくっきり濃く浮かび上がる。ファッションへの関心が高い田中さんが手がけるアイテムは、身につけていて楽しくなるようなものばかりだ。

▶ フットウェア部門
フューチャーデザイン賞

RYOHEI YOSHIDA

吉田遼平 [個人]



「イギリスのバンクカルチャーがイメージソース」と話す一足は、馬のたてがみを用いてモヒカンを表現。シュリンクレザーをベースにアバンギャルドに仕上げた。

▶ バッグ部門
フューチャーデザイン賞

NAOTO MIKI

三木直人 [Naoto+m]



軽さとタフさを両立するため、橋をイメージソースにデザイン。腕に挟んで持ったり、椅子の背に挟んでおくなど、さまざまなユーザビリティを取り入れている。

▶ バッグ部門
ベストデザイン賞

TAKAYUKI WADA

和田孝幸 [Bubona Design]



特殊な芯材を通して手にフィットするようにした手縫いハンドルや物の出し入れをしやすくしたラウンドジップなど、ミニマルなデザインながら機能美を追求している。

▶ バッグ部門
ベストデザイン賞

SHIGEYUKI SUZUKI

鈴木成之 [オーベルズ]



上質なコードバンの滑らかな風合いや気品に満ちた艶感、繊細な三つ編みによるバイピングで、落ち着きのあるクラシカルな表情と女性ならではの柔らかさを表現した。

▶ ファッション部門
ベストデザイン賞

EIJI NAKAMURA

中村英二 [個人]



食虫植物のウツボカズラのシルエットをイメージ。特徴的なシェイプを表現するため、ベジタブルタンニンレザーで制作。立体的なフォルムは、アートを感じさせた。

▶ フリー部門
フューチャーデザイン賞

MANA HAMAGUCHI

濱口真奈 [ANAM]



三世代にわたって受け継げるものをテーマにした子どもの成長と共に深みが増すレザーのおまごととセット。アイテム毎に牛と羊のヌメ革を使い分け柔らかさや質感を表現。

▶ 学生部門
最優秀賞

TOMOKAZU HIROSE

廣瀬友和
[東京都立城東職業能力開発センター 台東分校]



レザーのみを使い、スニーカーのような履き心地を追求。アッパーはメッシュ編みに、ソールは肉厚のヌメ革を用いて伝統工芸の飾り結び“花結び”に仕上げた。

▶ 特別賞
(フリー部門)

SEIYA HAMAZAKI

浜崎誠也 [ATW Japan]



あえて実用性のないアイテムにトライすべく、絶対に乗ってはいけないスケートボードを制作。デッキ全面はカービングと透かし彫りによるインレイで西陣織をイメージ。

STATE OF AWARDS CEREMONY

[2017年度表彰式の様子]



各賞の受賞者、関係者を招いて、11月29日(水)、大阪・阪急うめだ本店9F「祝祭広場」にて表彰式を開催。一般のご来場者からも盛大な祝福をいただきました。

CHARACTERISTIC

[特徴]

1

国内最大規模のレザープロダクト
コンペティション

2

どなたでも無料で応募可能

3

iTSCOM STUDIO & HALL
二子玉川ライズで
審査会を実施

4

二子玉川ライズ ガレリアで
表彰式を開催

※グランプリ、各賞の作品展示、受賞者を掲載した
小冊子も配布します。

5

審査会、表彰式時の
マスコミ取材

6

グランプリ受賞者をPR
(販売サポート or プロモーション
ビデオ制作 or 雑誌掲載)

JURY MEMBER PROFILE

[審査員プロフィール]

▶ 審査員長

▶ 特別審査員



長濱 雅彦

東京藝術大学美術学部教授/機能・設計研究室/専門はプロダクトデザイン。日経デザイン記者を経て長濱デザインオフィス設立。グッドデザイン賞、KSP賞、イエローペンシルなど受賞多数。近年は次世代の生活支援ロボットのデザイン研究などを行っている。



ドン小西

ファッションデザイナー。1981年自社ブランド「フィッチェ・ウォーモ」設立。東京・NY・ミラノ・ロンドン・ソウルなどでコレクションを発表。また、長野、シドニーオリンピック日本選手団、税関職員、東武鉄道など、数多くのユニフォームを手がける。毎日ファッション大賞、FECデザイナー賞ほか国内外の受賞多数。

▶ プロ審査員(あいうえお順)



阿部 浩

レガール (株) 代表取締役。(株) ベイクルーズを退社後、フリーランスのコンサルタントへ。レガール (株) を設立し、マーチャンダイザーとプロモーションを専門に手掛ける。



天津 憂

「エーディグリーファレンハイ」デザイナー。デザイナーを経てNew Yorkへ。アメリカ最大のコンペ Gen Art で2年連続グランプリ受賞。2016年 HanaeMori のクリエイティブディレクターに就任。



有働 幸司

「ファクトタム」デザイナー。1989年東京モード学園入学。1992年 (株) BEAMS 入社。2004年独立。現在、モード学園デザイン学科、ビジネス学科、スタイリスト学科の特別講師を務める。



鎌倉 泰子

フリーランスのバイヤー・ライター。ESMODPARIS メンズデザイン科を卒業後帰国。服飾雑貨全般を扱うアッシュ・ペー・フランス (株) に入社。ショップスタッフ、ディレクターを経て幅広く活躍中。



佐藤 直人

「NAOTOSATOH」デザイナー。1990年文化服装学院卒業。2010年 Japan Leather Award 2010 グランプリ受賞。現在日本の世界的なデザイナーズブランドのバッグ企画アドバイザーも手掛ける。



中山 路子

「ミュベール」デザイナー。服飾の学校を卒業後某アパレルメーカーに就職。2013年よりグラムマをミュージにしたジュエリーブランド「グラムマティック」のディレクションを手掛ける。



橋本 太郎

ノーノイエス (株) 代表取締役兼デザイナー。ジャパンレザーワード、MIPEL パノラマワードなどでグランプリを受賞。海外50店舗、国内100店舗以上の商品取り扱い実績がある。



矢口 真弓

PR・アドバイザー。ピギグループでVMD、販売促進、プレス業務を担当後、2000年に独立。現在は、イタリアブランドや、国内バッグブランド「トフ&ロードストーン」のPRとして活躍中。

他1名

※審査員は都合により変更する場合がございます。予めご了承ください。

REVIEW METHOD

[審査方法]

プロ審査員11名の審査と協議により、全応募作品の中から、グランプリ、各賞を決定します。

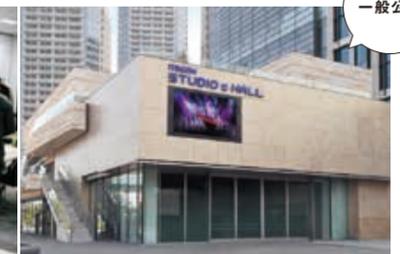
▶ 審査会

[会場] iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ
[開催日] 9月28日(金)10:00~20:00 *交流会18:00~19:30
9月29日(土)10:00~18:00
※開催時間は変更する場合があります。
[審査員] 長濱雅彦審査員長 / ドン小西特別審査員 / 他、プロ審査員9名

来場された一般の方から気に入った作品へのコメントをいただき、後日応募者にお戻しします。
※審査員による審査は9月28日(金)に実施します。
※グランプリ、各賞は11月17日(土)、二子玉川ライズ ガレリアにて開催する表彰式で発表します。
※グランプリ、各賞の作品を、表彰式会場にて展示します。



左の写真2枚はJapan Leather Award 2017審査会の様子



iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ

一般公開

EXPOSITION

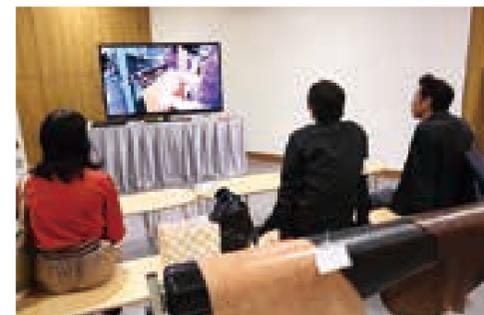
[博覧会]

審査会の会場において、さまざまなレザー素材の魅力を伝える「レザーワールド」、業界内外の交流をはかる「レザークラフトマンミーティング」を開催します。



LEATHER WORLD

レザーワールド



全応募作品が集まる審査会場と同じ空間にさまざまなレザー素材を展示。審査会場にご来場の皆様にもレザーの魅力を実際に見て、触って、感じていただけるコーナーを設置します。



▶ 応募者限定

LEATHER CRAFTSMAN MEETING

レザークラフトマンミーティング



業界内外の交流をより深める場として、懇親の場を兼ねた交流会を開催。参加者のプロフィールブックを配布するとともに、PRのためのインフォメーションスペースなどもご用意する予定です。

※レザークラフトマンミーティングは9月28日(金)のみの開催。
※詳細については、後日、作品応募者にご連絡します。

AWARDS CEREMONY

[表彰式]

2018年
11月17日
【土】

各賞の受賞者、関係者を招いて、二子玉川ライズ ガレリアにて表彰式を開催。今年も特別審査員のドン小西氏にナビゲーター、プレゼンターとして参加していただきます。グランプリ、各賞は表彰式当日に発表します。また、受賞作品を展示します。



Japan Leather Award 2018 表彰式会場

【会場】 二子玉川ライズ ガレリア 東京都世田谷区玉川2-21-1
【開催日】 11月17日(土) 14:00～ ※開催時間は変更する場合があります。

AFTER WINNING PR

[受賞後のPR]

▶ 受賞者全員対象のPR

受賞作品は、二子玉川ライズ ガレリアにて展示を行います。

【会場】 二子玉川ライズ ガレリア 東京都世田谷区玉川2-21-1
【開催日】 11月17日(土) 11月18日(日) 両日10:00～17:00
※開催時間は変更する場合があります。



Japan Leather Award 2017 展示会の様子

2018年
11月17日【土】
18日【日】

※会場にて、受賞者による制作実演やワークショップなどを予定。

受賞者および受賞作品をまとめた小冊子を作成。展示イベントで配布するほか、各受賞者にもプロモーション用として提供。



2017年度版の小冊子

▶ グランプリ受賞者のPR

グランプリ受賞者には、副賞として以下の3つのPR方法のうち1つをお選びいただけます。

※副賞の詳細については、後日、グランプリ受賞者にご連絡します。

1

Creema STORE in ルミネ新宿2での2週間限定の販売サポート



2

プロモーションビデオの制作・WEB配信



3

人気雑誌1誌に掲載



応募要項

APPLICATION REQUIREMENTS

1. 部門

・フットウェア部門 ・バッグ部門 ・ウェア部門^{*1} ・フリー部門^{*2} ・学生部門^{*3}

※1…レザーウェア、ベルト、手袋、帽子、ブレスレット、小物（財布・名刺入れ）など身につけるもの。
※2…生活雑貨、インテリア、その他（フットウェア部門、バッグ部門、ウェア部門に該当しないもの）。
※3…大学、専門学校などの学生だけが応募できます。

2. 各賞と審査基準について

- ・フューチャーデザイン賞(学生部門以外の4部門、各1名) ……賞金10万円、トロフィー〈新奇性^{*4}、新たな市場性を評価〉
- ・ベストデザイン賞(学生部門以外の4部門、各1名) ……賞金10万円、トロフィー〈優れた商業的な価値を評価〉
- ・学生部門 最優秀賞(1名) ……賞金10万円、トロフィー〈新奇性^{*4}、発展性を評価〉
- ・グランプリ(1名) ……賞金30万円^{*5}、トロフィー、副賞^{*6}〈9賞の中で最も優れた作品〉

※4…新奇性＝目新しいさま、物珍しいさま
※5…グランプリは各賞の中から選出されるので、賞金は実質40万円になります。
※6…副賞は、「販売サポート」、「プロモーションビデオ制作」、「雑誌掲載」のうち1つをお選びいただけます。

3. 応募注意事項

- ・個人またはグループでの作品応募が可能です。グループで作品応募する場合は、メンバー全員から同意を得たうえで代表者を定め、代表者名で応募してください。
- ・応募作品のコンセプトやデザインなどは個人またはグループのオリジナルのものであり、国内事業者または個人によって製造（縫製など）された作品に限ります。
- ・個人またはグループでの応募は、各部門1点まで応募することができますが、同じ作品を複数部門にまたがって応募することはできません。（同じ型で色違いの作品を複数応募することもできません）
- ・国産のなめし革、または、エキゾチックレザー（ワシントン条約に基づき正しく輸入された革）を作品表面積の60%以上に使用してください。
- ・応募作品の審査会場での展示は、付属品を除いた作品本体のみとなりますが、作品説明用のカード（ハガキサイズ150mm×100mm、ハガキの厚さまで、両面使用可）を1枚だけ作品とともに添付できます。添付を希望される方は、作品送付時に同梱してください。なお、オリジナル仕器等は使用できませんので、予めご了承ください。
- ・ご応募いただいた作品の返却は、表彰式開催後以降となります。作品の一時返却はできませんので、予めご了承のうえご応募ください。
- ・ご応募いただいた作品は、審査員が実際に手に取って審査を行いますので、傷や汚れがつく場合がございます。予めご了承のうえご応募ください。
- ・応募作品は、事務局到着後、事務局用意の箱に入れ替えて保管します。到着時に使用されていた梱包資材は廃棄します。

4. 審査および結果発表

[審査]

長濱雅彦審査員長、ドン小西特別審査員に加え、9名のプロ審査員による審査と協議で、全応募作品からグランプリ、各賞を決定します。

[結果発表]

グランプリ、各賞は11月17日(土)、二子玉川ライズ ガレリアにて開催する表彰式で発表します。各賞に選ばれた方には事前にご連絡します。

5. 受賞作品の展示

受賞作品は11月17日(土)、18日(日)、二子玉川ライズ ガレリアにて展示を行います。受賞作品の展示期間中、展示会開催先とそれぞれ販売条件などを締結のうえ受賞作品などの販売を委託することが可能です。

※一般社団法人日本皮革産業連合会（JLIA）は、この委託販売には一切関与しません。